

修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金）適格認定〈学業〉

認定区分	適格基準
<div>廃止</div> <p>2026 年度以降 給付奨学生 (授業料減免) の資格喪失 ※再申込不可</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 修業年限で卒業または修了できないことが確定（留年・留セメスター） 2. 修得した単位数の合計数が標準単位数※¹の 6 割以下 例）卒業要件単位数※²が 124 の場合 1 年：18 単位以下 2 年：37 単位以下 3 年：55 単位以下 4 年：74 単位以下 ※¹ 標準単位数 = 124 単位 ÷ 4 年 × 学年 ※² 卒業要件単位数は学部学科で異なります。学則、履修案内等で確認してください。 3. 履修科目の授業への出席率が 6 割以下であることその他の学修意欲が著しく低い状況※にあるとみとめられる ※「履修単位数に対し修得単位数数が少ない」「E 評価の科目数が多い」状況を「学修意欲が低い」状況と判断します。 4. 「警告」の区分に該当する学業成績に連続して該当（「停止」の区分に該当するものを除く） <div> <p>学業成績が著しく不良（学修の実態が認められない状況※）であり、災害・傷病等「やむを得ない事由」がない場合は学年の始期に遡って給付奨学金（授業料減免）の返還を求められます ※「修得単位数の合計が標準修得単位数の 1 割以下」「出席率が 1 割以下」など学修意欲があるとは認められない状況</p> </div>
<div>停止</div> <p>2026 年度支援停止 ※成績不良が続く場合 2027 年度「廃止」</p>	<p>警告の区分に該当する学業成績に連続して該当 (2 回連続して警告となった場合のうち、2 回目の警告の理由が「GPA 等が学部等における下位 1/4 の範囲に属する場合」のみ。但し 3 回連続で警告となった場合「廃止」。)</p>
<div>警告</div> <p>2026 年度支援継続 ※成績不良が続く場合 2027 年度 「廃止」「停止」</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 修得した単位数の合計数が標準単位数※¹の 7 割以下 例）卒業要件単位数※²が 124 の場合 1 年：21 単位以下 2 年：43 単位以下 3 年：65 単位以下 4 年：86 単位以下 ※¹ 標準単位数 = 124 単位 ÷ 4 年 × 学年 ※² 卒業要件単位数は学部学科で異なります。学則、履修案内等で確認してください。 2. GPA 等が学部等における下位 1/4 の範囲に属する 3. 履修科目の授業への出席率が 8 割以下であることその他の学修意欲が低い状況※にあると認められる ※「履修単位数に対し修得単位数数が少ない」「E 評価の科目数が多い」状況を「学修意欲が低い」状況と判断します。
<div>継続</div>	<p>上記に該当しない</p>